

京都大学（理系・甲） 2010 年 第 1 問

1 から 5 までの自然数を 1 列に並べる．どの並べかたも同様の確からしさで起こるものとする．このとき 1 番目と 2 番目と 3 番目の数の和と，3 番目と 4 番目と 5 番目の数の和が等しくなる確率を求めよ．ただし，各並べかたにおいて，それぞれの数字は重複なく 1 度ずつ用いるものとする．